

議会だより

8月



森町クイズ!
これはどこにあるでしょう?
(答えは13ページ下部に記載)

【森町議会4月会議】

✿ 補正予算を審議 2P

【森町議会4月第2回会議】

✿ 補正予算・条例等について審議 3P

【森町議会5月会議】

✿ 財産の取得・工事請負契約の締結等について審議 3P

【森町議会6月会議】

✿ 専決処分・補正予算・財産の取得・工事請負契約の締結
・意見書・条例等を審議 4P

✿ 町政のココが聞きたい 6議員が一般質問 7P

■発行／北海道森町議会

■編集／広報広聴常任委員会小委員会

森町議会ホームページアドレス <https://www.town.hokkaido-mori.lg.jp/bunya/gikai/>

〒049-2393 北海道茅部郡森町字御幸町144-1 ☎01374-2-2185 E-Mail gikai@town.hokkaido-mori.lg.jp



▲森町議会
公式ホームページ



▲森町議会
YouTubeチャンネル

令和8年
第1回森町議会

4月会議

4月会議が、4月16日に行われました。
決まった主なものは次のとおりです。

補 正

◆令和8年度会計補正予算

会計別	補正額	総額	議決の内容
一般会計(第1号)	8,000万円	122億5,276万円	原案可決

“討論”

【議案第1号 令和8年度森町一般会計補正予算(第1号)について】

反 対

○斉藤優香議員

社会福祉法人への補助金支出は、協定書未締結、積算根拠不明確な補助金額の変動、構造的赤字体質の固定化リスク、公平性への疑念から反対します。町民の税金投入には客観的妥当性を示す資料が不可欠であり、現状では8,000万円の支出は容認できません。

賛 成

○高橋邦雄議員

市町村は介護保険法・老人福祉法に基づき、地域で支えきれない高齢者の最終的な保護責任を有しています。財政支援を行わなければ利用者が不利益を被り、介護難民を生む可能性があるため、高齢者の安心な暮らしの確保が最優先です。予算そのものに瑕疵はありませんが、今後の運営は中身を精査し、関係課連携による体制強化と適正な管理を要望します。

反 対

○東隆一議員

社会福祉法人さくら福祉会への追加的な財政支援について、昨年可決した支援は、令和8年3月までの緊急的・一時的措置であり、抜本的な整理が成されることを前提としたものであることを認識しています。しかしその後の経緯を見ると、さくらの園の町直営から法人運営へと方針変更され、その後にに関する計画や財政見通しの説明が不十分なまま、行政が一般財源投入を検討しています。議会は、支援の継続性や将来的な財政負担を懸念しており、経営改善・統合計画・町の関与を明確にした上で再提案されるべきものと考えます

賛 成

○野口周治議員

大きく見て町の方針は変わらず、ベストの過渡的プロセスを求め、今、社会福祉法人化により経営改善と特別養護老人ホームの維持を両立させる提案がなされています。両施設の併存や町営での統合に対し、法人化で赤字を大幅に削減し、民間のスピード感と自由度で経営することでより良く出来るとの提案です。町民の、最も弱い立場の人々が救われる場を守るため、原案に賛成して入居者ご家族に安心してもらえるようにやりましょう。

反 対

○松田兼宗議員

現在の森町の財政は厳しく、複合施設等の建設の先行きも不透明な中で、財政負担について行財政改革をやっていかなければなりません。補助金は今回の8,000万円ではなくて、最初に言っていた2,610万円を取り敢えず支出するかたちにした方がいいのではないかと何度も質疑の中で言ってきました。社会福祉法人シャリテさくらが要求した資料を提出しないため、町や議会との信頼関係が損なわれています。今後の信頼関係を築いていく上で、協定書を締結し、5年間にわたる再建計画の根拠資料が無い限り、再建できないと思っています。今回に関しては一度廃案にして、再度提出しなおし、信頼関係を築き直すべきです。

賛 成

○千葉圭一議員

森町における特別養護老人ホームの統合計画は、運営主体が町立から社会福祉法人へ変更され、令和8年2月に方針転換がありました。統合するまで1年しかない中で、さくら福祉会で来年度以降の計画を早急に作成し提出してもらう等、町側はさくらの園の入所者、そのご家族への説明と理解促進など、課題を整理し取り組んでいただきたいと思います。そのために町議会議員一丸となってこの1年間をしっかりと取り組んで参りましょう。

令和8年第1回森町議会4月会議 賛否一覧

(反対のあった議案を掲載)

○賛成 ・ ×反対 ・ 欠:欠席

議件名	採決結果	伊藤 昇	河野 文彦	高橋 邦雄	河野 淳	山田 誠	野口 周治	斉藤 優香	千葉 圭一	佐々木 修	加藤 進	東 隆一	松田 兼宗	木村 俊広
令和8年度森町一般会計補正予算(第1号)	可決	×	×	○	○	欠	○	×	○	○	○	×	×	議長

令和8年 第1回森町議会 4月第2回会議

4月第2回会議が、4月28日に行われました。
決まった主なものは次のとおりです。

条 例

- ◆森町税条例の一部を改正する条例制定について
- ◆森町介護保険条例の一部を改正する条例制定について

原案
可決

原案
可決

補 正

- ◆令和8年度会計補正予算

会計別	補正額	総額	議決の内容
一般会計(第2号)	265万円	122億5,541万円	原案可決

〈〈〈令和8年第1回森町議会4月第2回会議において反対のあった議案はありませんでした。〉〉〉

令和8年 第1回森町議会 5月会議

5月会議が、5月7日に行われました。
決まった主なものは次のとおりです。

工事請負契約の締結について

- ◆町営住宅屋根外壁等改修工事(みどりヶ丘団地4号棟) その1
契約者: 工藤建設・丸正佐藤・岩本特定建設工事共同企業体 契約金額: 242,000,000円
(代表者) 工藤建設株式会社

原案
可決

財産の取得について

- ◆小型動力ポンプ付積載車 1台
契約者: 株式会社北海道モリタ 契約金額: 33,000,000円

原案
可決

〈〈〈令和8年第1回森町議会5月会議において反対のあった議案はありませんでした。〉〉〉

令和8年
第1回森町議会

6月会議

6月会議が、6月16日に行われました。
決まった主なものは次のとおりです。

報 告

◆専決処分した事件の報告

各会計予算における事務事業の執行精査により増減補正をしたものです。

令和7年度森町一般会計補正予算（第14号）

令和7年度森町国民健康保険特別会計補正予算（第6号）

令和7年度森町後期高齢者医療特別会計補正予算（第5号）

令和7年度森町介護保険事業特別会計補正予算（第6号）

令和7年度森町介護サービス事業特別会計補正予算（第6号）

令和7年度森町港湾整備事業特別会計補正予算（第1号）

令和7年度森町ホタテ未利用資源リサイクル事業特別会計補正予算（第4号）

令和7年度森町国民健康保険病院事業会計補正予算（第7号）

◆令和7年度森町一般会計継続費繰越計算書の報告について

令和7年度森町一般会計継続費繰越計算書について、議会に報告するものです。

◆令和7年度森町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

令和7年度森町一般会計繰越明許費に係る歳出予算の翌年度への繰り越しについて、議会に報告するものです

条 例

◆森町水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について

原案
可決

補 正

◆令和8年度各会計補正予算

会計別	補正額	総額	議決の内容
一般会計(第3号)	9,434万円	123億4,975万円	原案可決
国民健康保険特別会計(第1号)	372万円	24億471万円	原案可決
介護保険事業特別会計(第1号)	237万1千円	22億2,670万3千円	原案可決
介護サービス事業特別会計(第1号)	59万2千円	2億6,930万9千円	原案可決
国民健康保険病院事業会計(第1号)	収益的収入 294万円 収益的支出 214万5千円	9億3,317万4千円 13億1,061万円	原案可決

主な事業

消防団員用防火衣整備事業(2,983万7千円)

消防団の災害対応能力の向上を図るための資機材を整備し、消防団員の安全を最大限に確保することで、効果的な消防活動を実現することを目的とするものです。



自治体予算査定業務自動化・高度化システム導入事業(400万円)

予算要求書、過去予算、総合計画、各種計画、財政指標等をもとに、AI を活用することで予算査定に必要な査定論点の整理、判断根拠の可視化、庁内議論の高度化、作業時間の削減及び業務標準化を実現することを目的とするものです。また、予算査定業務を中核としながら、事務事業評価、行財政改革の推進などに横断利用できるシステムの導入を行います。

工事請負契約の締結について

◆掛漕揚水機場設備整備工事（その1）

契約者：株式会社鶴見製作所北海道支店 契約金額：53,570,000円

原案
可決

財産の取得について

◆非常用備蓄品 防災毛布 1,480枚

契約者：海渡産業株式会社 契約金額：8,872,600円

原案
可決

◆間仕切りパーテーション 264張

契約者：株式会社コクアLCサービス 契約金：5,517,600円

原案
可決

◆作業用車両 1台

契約者：コマツカスタマーサポート株式会社北海道カンパニー 契約金：20,680,000円

原案
可決

◆Wキャブトラック 1台

契約者：函館日野自動車株式会社 契約金：6,813,538円

原案
可決

人 事

◆農業委員の選任について 同意

住吉 隆子 氏 (新任)	小森 明彦 氏 (再任)	宮本 秀逸 氏 (再任)	加藤 秋彦 氏 (再任)
青山 純司 氏 (再任)	黒澤 寿光 氏 (再任)	猪子 和博 氏 (再任)	皆川 毅 氏 (再任)
河野 芳之 氏 (再任)	甲田 祐康 氏 (再任)	豆澤 俊二 氏 (再任)	下小路 圭介 氏 (新任)
出口 優果 氏 (新任)	高瀬 幸巳 氏 (再任)	佐橋 悟 氏 (再任)	

意見書

- ◆ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書(賛成10反対1)
- ◆東京一極集中の税の偏在是正及び地方の持続的発展に向けた施策の強化を求める意見書(賛成9反対2)
- ◆令和8年度北海道最低賃金改正等に関する意見書(賛成6反対5)
- ◆地方財政の充実・強化に関する意見書(賛成9反対2)
- ◆義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書(賛成9反対2)
- ◆道教委「これからの高校づくりに関する指針」(改定版)を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書(賛成8反対3)
- ◆急騰する奨学金の金利に対する負担軽減を求める意見書(賛成6反対5)

令和8年第1回森町議会6月会議 賛否一覧

(反対のあった議案を掲載)

○賛成 ・ ×反対 ・ 欠:欠席

議件名	採決結果	伊藤 昇	河野 文彦	高橋 邦雄	河野 淳	山田 誠	野口 周治	斉藤 優香	千葉 圭一	佐々木 修	加藤 進	東 隆一	松田 兼宗	木村 俊広
ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	×	議長
東京一極集中の税の偏在是正及び地方の持続的発展に向けた施策の強化を求める意見書	可決	○	○	○	×	欠	○	○	○	○	○	○	×	議長
令和8年度北海道最低賃金改正等に関する意見書	可決	×	×	○	○	欠	○	○	×	○	○	×	×	議長
地方財政の充実・強化に関する意見書	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	×	議長
義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元など教育予算拡充とゆたかな学びを求める意見書	可決	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	×	議長
道教委「これからの高校づくりに関する指針」(改定版)を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書	可決	○	×	○	○	欠	○	○	○	○	○	×	×	議長
急騰する奨学金の金利に対する負担軽減を求める意見書	可決	×	×	○	○	欠	○	○	×	○	○	×	×	議長

北海道町村議会議長会主催議員研修会 (札幌市)

7月2日、札幌コンベンションセンターにおいて北海道町村議会議長会が主催する研修会が開催され、議員11名が出席しました。

全道の町村議会議員が一堂に会し、関東学院大学法学部地域創生学科教授牧瀬稔(まきせみのる)氏による「地方議員への12の政策アイデアから人口維持を目指す実践事例」、ジャーナリスト須田慎一郎(すだしんいちろう)氏による「どうなる政治・経済～日本再生のために何が必要か～」というテーマで講演いただきました。この講演で学んだことを議員活動に活かしていきます。





一般質問6議員12件

○一般質問とは・・・

議員が町に事務の執行状況や将来に対する考え方など報告説明を求め、適切な町政運営を進めているかチェックし政策等を議論するものです。
(3・6・9・12月の年4回行っています。)



①公共施設の再編・利活用について

3番
高橋 邦雄 議員

8P



①公平委員会についての職員への周知とアンケートについて
②RSウィルスワクチン補助金について

8番
千葉 圭一 議員

8・9P



①少年団・部活動の送迎体制は
②再生可能エネルギー規制条例の制定を

7番
斉藤 優香 議員

9・10P



①森駅前商業施設の事業停止について

2番
河野 文彦 議員

10P



①町内会について
②森町生活館等の管理について

13番
松田 兼宗 議員

11P



①原油、ナフサ供給不安の影響と対応について
②不登校の子どもおよびその保護者への対応について
③災害時のトイレ使用等について
④カラスの巣の駆除業務の終了について

6番
野口 周治 議員

12P



掲載している一般質問文は議員本人が要約したものです。全文は、森町議会公式ホームページから会議録をご確認いただくか、上記QRコードから 유튜브へアクセスしてご視聴いただけます。

問 公共施設の再編・利活用について

【高橋 邦雄 議員】

地方公共団体には、厳しい財政状況を背景に簡素で効果的な行財政システムの構築とともに、公共サービスの質の維持向上を実現することが求められています。このため、地方公共団体では行政改革を進めるなかで保有する公共施設をはじめとした、保有財産の有効活用が喫緊の課題となっています。公共マネジメントにおいては、公共施設を貴重な財産として捉え住民生活や福祉の向上に貢献できるよう効率的、効果的な管理の方法や体制を構築することが重要です。また、新たな公共施設マネジメントに取り組むことも必要であり、公共施設マネジメントの目的は、施設運営の非効率化を排除して必要な施設を効果的に整備し、活用していくことです。令和7年度に改定された森町耐震改修促進計画に基づいて、公共施設の耐震調査や耐震化を推進し、効率的、効果的な施設運営に取り組むべきと考えますが、町長の所見を伺います。

答 公共施設マネジメントに取り組んでまいります

【岡嶋 町長】

当町は人口減少と少子高齢化に伴う社会保障関係経費の増加、物価高騰による経済的、経営的経費の増大により財政運営が一段と厳しさを増しております。加えて、町が保有する公共施設の多くは老朽化が進行し、維持管理に多額の費用が発生しております。行財政改革を進めるなかで、町が保有する公共施設をはじめとした保有財産の有効活用は、町民生活と福祉の向上に貢献するため喫緊の課題であると認識しております。将来的な財政状況を踏まえながら、人口動態や時代のニーズに対し行政サービスを継続的に提供する持続可能なまちづくりを実現するため、公共施設マネジメントに取り組んでまいります。具体的には、施設用途、規模、利用頻度、耐震性、老朽化の度合い等を総合的に検証した上で公共施設の効率的、効果的な運用、統廃合、複合化、長寿命化等を推進し施設の最適化を図ってまいります。

問 公平委員会についての職員への周知とアンケートについて

【千葉 圭一 議員】

昨年度9月会議において、職場内でのハラスメント対策についての一般質問をさせていただきました。町長は改めて公平委員会等々も含めて周知をたかめるようにしっかりと今年度中にやらせていただきたい。職員へのアンケートに関しても全職員一斉にもう一度少し内容を精査しつつでありますけれども実施させていただきたいとお答えになりました。

昨年度中に公平委員会について職員への周知やハラスメントのアンケートを実施したのでしょうか。



答 早急に全職員への周知を図ります

【岡嶋 町長】

公平委員会は第三者としての中立的な立場で助言、指導を行う機関であり、相談制度の活用は職員のセーフティーネットの強化やハラスメントの未然防止に有効であると認識いたしました。ハラスメントの相談に限らず、勤務条件や勤務環境に関することを含め相談可能であることから、全職員に対して周知を図り、組織全体の勤務環境の改善に取り組んでまいります。今年度中にその包括的というか、総合的に職員が働きやすい、ハラスメントに対する対応を自治体は義務というか、しっかりと今年度中につくらなければならない。まさに働くということにおいて職員が抱えるようなそういった課題を一緒になって解決、そしてまた様々なものを防止する、そういう観点からしっかりと行っていきたいと思います。

問 RSウイルスワクチン補助金について

【千葉 圭一 議員】

RSウイルス感染症は、RSウイルスの感染によって引き起こされる呼吸器感染症です。高齢者や喘息、慢性閉塞性肺疾患、あと心疾患、糖尿病、慢性腎臓病などの慢性の基礎疾患がある人や免疫機能が低下している人がRSウイルスに感染した場合、肺炎などをおこすこともあるそうです。成人が重症化し入院した場合、インフルエンザでの入院が平均で15日に対し、RSウイルス感染症で入院した場合倍の30日間であることが報告されています。今年4月から妊婦を対象としたRSウイルスワクチンは定期接種となり、その費用は原則無料ですが、成人に対しての補助はありません。

重症化し入院することになった場合の費用が平均80万以上かかるそうです。又、医療機関でワクチン接種が必要だと言われた場合、費用が1回当たり約2万5,000円ぐらいかかるそうです。町としてRSワクチン接種の費用の補助金を出すべきだと考えますが、町長の所見をお伺いします。

答 今後定期接種化の動向を見つつ検討して行く

【岡嶋 町長】

予防接種には、法に基づき市町村が実施主体となり実施する定期接種と、希望者が各自で受ける任意接種があり、定期接種は集団予防の観点から実施されるA類疾病と主にハイリスク者の個人予防の観点から実施されるB類疾病に分けられます。町では定期接種及び一部の任意接種に係る接種費用について、A類疾病は全額、B類疾病はおおむね半額程度の自己負担となるよう助成してきているところですが、高齢者のRSウイルスワクチン接種費用への助成につきましては、今後定期接種化の動向を見つつ検討してまいりたいと考えております。



問 少年団・部活動の送迎体制は

【斉藤 優香 議員】

少年団、部活動の送迎体制は児童生徒の安全確保が重要です。最近の事故事例も踏まえ、児童生徒の移動時における安全確保や事故発生時の責任や対応、さらに送迎を担う方々の負担について、また少年団活動や部活の送迎時の町、学校、指導者、保護者、それぞれの責任区分や安全管理体制は文章などに明文化されているのか。事故発生時の対応体制の整理、ガイドライン整備、今後の送迎体制の在り方について教育長の所見をお伺いします。

- 少年団及び部活動における児童生徒の送迎の実態。
- 町バス、保護者の乗合送迎、指導者送迎など、現在行われている送迎形態ごとの責任区分、保険加入状況及び安全管理体制。
- 町として送迎体制の見直し、安全管理マニュアル及びガイドライン整備の考え。
- 今後、部活動の地域移行した場合の送迎体制。

答 子供たちが安全で安心して活動できる環境整備をしていく

【毛利 教育長】

少年団活動は保護者による送迎が基本。全道大会などの参加は町有バスや公共交通機関を主に利用している。町有バスは、町において保険に加入、保護者送迎の場合は、運転者である保護者の責任。少年団員は全員が加入しているスポーツ安全保険の傷害保険により活動中や移動時の事故について一定の保障の対象となっている。部活動の各種大会の送迎は、町有バス、保護者の送迎が基本であり、教員による送迎は行っていない。スクールバスの場合は委託事業者が安全管理をしている。少年団も部活動も現時点において送迎体制の見直しは考えていないが、北海道及び北海道教育委員会で新たなルールづくりが検討されているため、その動向を踏まえ、各学校に対し危機管理マニュアルの見直し等について考えていく。今後、部活動が地域クラブへ移行した場合は、学校教育活動から社会教育活動へと位置づけが変わるので、送迎に関する考え方は少年団活動と同様の扱いになります。

問 再生可能エネルギー規制条例の制定を

【斉藤 優香 議員】

地球温暖化対策の観点、そして世界情勢が不安定である現在、再生可能エネルギーは重要な施策ですが、無秩序な設置による問題も散見されます。

地域住民の安心、安全と良好な生活環境を守り、森町の誇りである景観や自然環境を守るためには事前に明確なルールを定めることが不可欠です。開発行為による土砂災害リスク、排水環境への影響、森林環境の変化、景観への影響などが懸念されます。

事業者に対し事業の明確化と責務、町と事前協議、情報公開及び必要な指導等を定め、住民への説明と意見聴取を行い、その結果を町長へ報告する。事業開始、変更、完了及び中止の届出義務、維持管理の義務、また撤去費の確保と原状回復などを定め、自然環境、景観及び住民生活との調和を図り、安全で安心な地域社会を実現するため再生可能エネルギー発電設備の適正な設置に関する条例制定に向けた具体的な検討を進めるべきと考えます。いかがですか。

答 条例制定を検討する

【岡嶋 町長】

森町は2020年に森町気候非常事態宣言、2023年にゼロカーボンシティ宣言をしました。地球温暖化の観点から、太陽光発電や風力発電等の再生可能エネルギーの導入は脱炭素社会を目指す上で重要な施策で推進していく必要があるが、無秩序な設置による災害リスクや森林環境への阻害といった問題が全国的に散見されています。次世代を担う子供たちに森町の豊かな自然環境を残すこと、重要な地域資源を守ること、森町の持続可能な発展のために再生可能エネルギーの推進と自然環境の保全を両立させるためには、無秩序な設置の防止、事業者が地域住民への情報提供、森林法や北海道自然環境等保全条例、北海道景観条例等の関係法令との整合を図りながら、工事着工前及び事業廃止時における町への届出や地域住民への説明、事業者が町の求める事項に従わない場合の公表制度などを内容とする条例の制定を検討します。

問 森駅前商業施設の事業停止について

【河野 文彦 議員】

森駅前ホテル、宴会場等を手掛ける企業が事業を停止しました。駅前の顔でありビジネス、観光の宿泊拠点として多くの方が利用し、冠婚葬祭や様々な会議の場としても森町民で利用した事のない方は皆無と言っても過言ではありません。多くの町民、全国からの来訪者に愛されてきた施設でありましたが新型コロナ流行以降は利用者が減少し業績が低迷した後、回復の兆しはあったものの今回の判断となってしまった様であります。今回の事態は一企業の問題だけには留まらず、町内の飲食店業界や食材や資材を卸していた事業者等にまで影響しています。森市街地の人の流れが変わってしまう事態となっており、多くの方々から早期再開を願う声が聴かれます。この様な状況下で森町に対し森商工会議所と森飲食店会より事業再生、再出発へ向けた要請書が提出された様ですが、多くの方々がこの施設を愛し利用してきた事は明確であり行政としても看過できないので質問します。

答 行政として可能な限りの支援をする

【岡嶋 町長】

駅前商業施設の事業停止は地域経済や町民生活にとって極めて重大な事態であると受け止めています。3月24日付で森商工会議所及び森飲食店会より新たな運営主体への円滑な承継や事業再生に向けた強力な支援を求める要請書を受領しました。本件に対する書面での正式な回答は行っていないですが、受領後、皆様と直接お会いし町の考え方を口頭でお伝えいたしました。具体的には、行政が直接的に民間の経営や資産整理に介入することは困難である旨を説明しました。その上で駅前の宿泊、交流機能の維持は町全体の公共的課題であるという認識を共有し、新たな事業者への継承や情報収集に向けて商工会議所と緊密に連携しながら、でき得る限りの側面支援を行っていく考えをお伝えしました。当該施設の引継ぎに関しては札幌市の事業者から継承に向けた意向が示されており、この事業者におかれましては既に役場へお越し頂き、町に対しても支援に関する要望を頂いています。

問 町内会について

【松田 兼宗 議員】

役員の高齢化や加入率低下により、町内会の維持は年々困難になっています。一般住民の間には「日常生活になくとも困らない」という認識が広がっており、旧来型の負担が大きい運営を求め続けるのは限界です。大規模災害時の「共助」が叫ばれますが、非常時に最優先されるべきは自らの命を守る「自助」であり、他者への支援を義務づけるような共助は現実的ではありません。

今行政に求められているのは、住民の本音に耳を傾け、町内会を安否確認などの最小限の機能に絞った情報拠点へと再定義・スリム化することです。行政事務のボランティア依存を脱却してデジタル化や民間委託へ移行し、対等な協働関係へシフトすべきです。住民や未加入者のリアルな意識を把握する実態調査の実施と、これまでの行政の具体的な支援実績を伺います。

答 持続可能な自治活動のあり方を検討

【岡嶋 町長】

少子高齢化に伴う町内会の運営課題や負担感は事実として認識しています。しかし、行政と町内会は単純な依存関係ではなく、互いに役割を分担して地域を支える対等な協働関係です。多様化する住民ニーズに対し、職員数や財政の制約がある中で、町内会の役割を全て行政が引き受けることは現実的ではありません。

一方で負担軽減は必要であり、広報紙配布の一部委託や募金方法の見直しなど、柔軟な検討を進めています。また、災害時の共助は平時の地域活動や住民同士の交流の積み重ねから生まれるため、防災だけに特化せず、日頃のつながりを維持することが地域防災力の向上につながると考えます。

これまで3回の意見交換会を開催し課題把握に努めてきました。単に役割を削減するのではなく、行政・地域・住民の役割を改めて整理し、持続可能な自治活動のあり方を共に検討してまいります。

問 森町生活館等の管理について

【松田 兼宗 議員】

各地区の生活館等は地域活動の重要拠点だが、現行の条例や管理人の運用には法的な不備や矛盾が放置されている。

第一に、管理人は実質ボランティアに近い報酬で除雪や災害時対応など重い責任を負っているが、事故時の免責基準がなく法的身分が曖昧である。

第二に、選任の手続規定がなく、管理人が役場の正規職員を指揮監督するという組織論的なねじれが生じている。

第三に、利用許可等の行政処分を現場の管理人に実質的に判断させている現状は不適切だ。

さらに、条例にある運営審議会が長年設置されておらず、利用実態の把握も不十分である。管理人の身分保障や指定管理者制度の導入も含め、早急に条例や規則を全面改正すべきではないか。

答 早急に条例や規則を改正

【岡嶋 町長】

管理人は町が委嘱している私人という立場であり、責任問題に不明瞭な部分があること、条例・規則が実態と一致していないことは今回認識した。現場に利用許可の判断を委ねているのは利用者の利便性を優先した結果だが、ご指摘を捉え必要な改正を行いたい。

特に、事故が起きた際の保障や責任の在り方に関しては、議員の指摘通り早急に変えていかなければならないと考えており、改正に向けて動く。

一方で、現在の自治活動は担い手や労力の不足に直面している。改正によって地域が運営しづらくなってしまう本末転倒であるため、町内会活動を持続するためのスリム化・効率化や、指定管理者制度導入の影響なども含め、実情を踏まえて思慮深く検討を進めていく。

問 原油、ナフサ供給不安の影響と対応について

【野口 周治 議員】

ナフサ等供給不安への、町内への影響と町の対応はどうですか。

答 重要な課題

【岡嶋 町長】

実態把握と影響最少化を図り、道を含め、重点交付金の活用や国への要望など考えていきます。

問 不登校の子どもおよびその保護者への対応について

【野口 周治 議員】

政府は、不登校は子どものせいでも親の甘やかしのせいでもないとしています。不登校の子どもの多くは、命の問題を抱えているそうです。休息と回復が必要です。森町ではどうですか。

子どもたちを「型にはめる」指導についての考え方はどうですか。

答 社会全体で支える

【毛利 教育長】

不登校は児童生徒や保護者の責任ではなく、社会全体で支え、傷ついているときは回復が優先です。教育現場は厳しい管理ではなく、少し開放的でありたいです。

いつ、どんな状況が生まれるか分かりません。緊張感を持って取り組みます。子供たちが自分の言葉で自分の状況を言える状態にあるかどうか大切です。

問 災害時のトイレ使用等について

【野口 周治 議員】

災害発生時のトイレの対応計画を尋ねます。

- ① 携帯トイレの処理
- ② 水洗トイレ（下水）流末、また便槽のし尿の処理
- ③ これら2点の周知

答 対応計画はあり啓発に努める

【岡嶋 町長】

- ① 携帯トイレは、収集・焼却します。
- ② 長期停電時も、下水処理場は3日程度は運転できます。し尿処理は停止しますが、受入れは1.4日分可能です。
- ③ 周知しており、啓発に努めます。

問 カラスの巢の駆除業務の終了について

【野口 周治 議員】

カラスの巢の駆除終了について、農林業被害以外が主だからというだけでは、大事なことが欠けているのではないですか。

答 広報の仕方は改善する

【岡嶋 町長】

本件、近年は生活環境が主で、本来は土地等の管理者での対応が基本です。近隣の町でも同様です。広報の仕方は、町民目線での検討が不足していました。

まちかど議会カフェ

たくさんのご意見ありがとうございます。

7月5日食KING市(地域活性化広場)にて開催

イベント

- ・食KING市は楽しいが価格が高いと感じるものもある。
- ・SNSで知った。
- ・森町さくら祭りの会場に休憩の為の臨時の長椅子を設置してほしい。

公共交通

- ・子どもとお年寄りのバスの乗り方教室をやってはどうか。



道の駅

- ・道の駅に行くけど何もない。
- ・特産品を買いたい。
- ・水で遊べる公園があるといい。



次回はもりもり盛り上がり
三業まつりの会場で議会
カフェを開催します。お気軽に
お越しください。

議会傍聴しませんか？

一般質問を含む会議のライブ・録画映像をYouTubeで配信しています。

現在登録者数
515人



北海道森町議会
公式チャンネル



北海道森町議会

検索

本会議当日は、公共施設5ヶ所
(議会棟ロビー、役場新棟ロビー、
森町公民館、砂原支所、砂原公民館)
で視聴することができます。

チャンネル登録すると、新しい動画の通知を受け取ることができます。
ぜひチャンネル登録をお願いします。

議 会 日 誌

令和8年4月18日から令和8年7月16日までの
議会の主な活動について、お知らせします。
会議の名称は簡略化しています。

令和8年

4月23日 議会運営委員会
「4月第2回会議に係る運営」
道南林活議連連絡会総会・研修会
(北斗市)

4月28日 4月第2回会議

5月1日 議会運営委員会
「5月会議に係る運営」

5月3日 食KING市

5月7日 5月会議
広報広聴常任委員会所管事務調査
「意見交換会について」
「議会だよりについて」

5月10日 第34回北海道オープンベタンク森大会
第16回ばんば競技大会

5月15日 令和8年度森町さわら商工会通常総会

5月20日 令和8年度渡島総合開発期成会定期総会

5月26日 全員協議会
「森町砂原公民館の耐震診断の実施について」
「資源ごみ袋の透明・半透明袋への変更について」
「JR赤井川駅の廃止について」
「特別養護老人ホーム(シャリテさわら・シャリテの森及
びさくらの園)の統合に係る事項について」

5月29日 令和8年度定時総会(公益社団法人
森町シルバー人材センター)
花いっぱい運動(花壇整備)

5月30日 森小学校大運動会

6月5日 森中学校校内体育大会「友絆祭」
令和8年度森町交通安全運動推進
委員会常任委員会及び定期総会

6月7日 第41回(2026年)「北海道森町ふる
里の会」総会

6月8日 議会運営委員会
「6月会議に係る運営」

6月9日～10日

北海道町村議会議長会第77回定期総会
渡島町村議会議長会臨時総会

6月14日 令和8年度渡島地方消防総合訓練大会

6月16日 6月会議

6月23日 森町戦没者追悼式

6月25日 渡島総合開発期成会札幌要望

6月26日 令和8年第1回渡島廃棄物処理広域
連合議会臨時会

6月29日 総務経済常任委員会所管事務調査
「地震、津波、噴火等の災害対策について」(防災交通課)
「地域交通に関する現状について」(企画振興課)
「ナラ枯れの被害状況と対策、対処の進捗状況について」
(農林課)
「行財政改革の取り組みと進捗状況について」(総務課)

6月30日 民生文教常任委員会所管事務調査
「学校運営における車両の維持、管理及び運行について」
(学校教育課)
「病院運営、管理について」(森町国民健康保険病院)
「各種診療報酬の請求調定について」(森町国民健康保
険病院)

7月2日～3日

北海道町村議会議長会主催議員研修会
(札幌市)

7月5日 まちかど議会カフェ
(食KING市開催時)

7月8日 福島県喜多方市議会文教厚生常任
委員会視察の受け入れ

7月13日 議会運営委員会
「7月会議に係る運営」

7月16日 7月会議
広報広聴小委員会